

活 動 記 録 書

| | |
|--|--------------------------|
| 開催日： 平成30年11月30日(金) 天候 晴 | 開催テーマ： バス特別探訪「秩父の社巡り」 |
| 開催場所： 秩父市 長瀬町 横瀬町 | 記入者： 杉山 茂 |
| 参加人数： | |
| 会 員 | 男 24名 女 9名 計 33名 |
| ビジター | 男 2名 女 10名 計 12名 |
| 合 計 | 45名 |
| 実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： | |
| <p>コース：金沢文庫(出発)→横横道路→東名高速→圏央道→関越道→寄居→宝登山神社(拝観) → 聖神社(拝観) → 昼食-秩父まつり会館・秩父神社(拝観) → 秩父錦・酒づくりの森(試飲) → 皆野寄居有料→関越道→圏央道→東名高速→横横道路→金沢文庫(到着・解散)</p> <p>快晴の下、参加者の集まりが良く出発予定時刻よりやや早めに出発。乗務員は昨年と同じで、和気藹々とした旅路の予感がする。海老名付近ではすっかり冬化粧をした富士山を眺め、ガイドさんの名調子を聞きながら、2回のトイレ休憩を挟み定刻に最初の訪問先、宝登山神社に到着した。</p> <p>今回、宝登山神社・聖神社のガイドは、秩父市シルバー人材センターに依頼した。</p> <p>宝登山神社は秩父神社・三峯神社と共に秩父三神社の一つであり、日本武尊に纏わる由緒ある神社である。権現造りの社殿は大改修の直後で欄間に施された「登竜門」など彩色された彫刻は鮮やかであった。</p> <p>聖神社は発見された自然銅(和銅)を朝廷に献上し、朝廷はこれを祝い、発見された場所に和銅製雌雄一対の蜈蚣と和銅をご神体とする神籬を建てたのが初めとされる。和銅が発見された場所は、神社から途中リタイヤする人が出る程の山道を10分ちょっと歩いた山中、和同開珎の大きなモニュメント設置されていた。和同開珎は当地で産出した和銅で鑄造され、他所で産出された銅は使用されていないとガイドから説明があった。神社に戻り蜈蚣と和銅を拝観して聖神社を後にした。</p> <p>昼食は拝観が予定時間より長くなり、食事時間を短縮したが配膳の手際がよく落ち着いて食事ができた。</p> <p>秩父まつり会館・秩父神社は瀬川世話人の尽力により、秩父錦・酒づくりの森の方々の案内があり、さらに土産物を頂戴した。</p> <p>秩父まつり会館は秩父各地のまつり・秩父夜祭りの映像を鑑賞した。時間に追われ他の展示物は見られなかった。</p> <p>秩父神社は明日からの秩父夜祭り準備中での拝観であった、神門のすぐそばにあるご神木の大きな銀杏は見事な黄葉、柔らかな陽光を浴び黄葉が散る様は絶景である。本殿外側に施された、左甚五郎作とされる「つなぎの龍」を初めとする数多くの彫刻は見事であった。</p> <p>最後の訪問先、秩父錦・酒づくりの森で試飲と買い物を楽しんだ後、夕闇迫るなか帰途についた、秩父各所で見た紅葉・見事な彫刻などを楽しみ、予定時間よりやや遅れて無事金沢文庫に到着した。</p> | |
| 参加者の状況・意見など： | |
| <p>出発準備中にアクシデントが発生したが、大事に至らなかったことは不幸中の幸いであった。</p> <p>昼食は好評であった。</p> | |
| 次回の予定： | |
| <p>12月 6日(木)10時 江ノ電 極楽寺 テーマ「紅葉の海街、極楽寺から長谷へ」</p> <p>(平成31年)1月11日(金)10時 京急新逗子駅北口 テーマ「新春の逗子から葉山を巡る」</p> | |